

平和記念だより 87

2023年4月

◆編集・発行/高松市市民政策局人権啓発課 高松市平和記念館
◆連絡先/高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ5階
〒760-0068 TEL(087)833-2211 FAX(087)833-2244

小・中学生のための平和講演会

「小・中学生のための平和講演会」は、次世代を担う小学生や中学生に平和の尊さを理解してもらうための事業として令和元年度にスタートしました。戦争の実相を伝えるために、講師の方がそれぞれの経験したことや、実際に起こった出来事について子どもたちに語ります。令和4年度は高松市立屋島西小学校、高松市立香東中学校の2校で開催しました。

高松市立屋島西小学校	■内 容：広島での原爆体験
■開催日：令和4年10月24日(月)	■講 師：長尾 昭雄さん
	■対 象：小学6年生及び保護者(78名)
	広島県で就業中に原爆投下に遭い、仲間の多くが命を失う中、大けがを負いながらも一命をとりとめた経験を通して、「平和でないと幸せはない。」と訴えました。 児童からは、「今ある平和を大切にしたい。」「人生の目標に平和を入れようと思う。」「つらい話なのに私たちのためにありがとうございました。」等、感想や感謝の言葉が寄せられました。
高松市立香東中学校	■内 容：高松空襲
■開催日：令和5年1月20日(金)	■講 師：池田 <small>みのる</small> 實さん
	■対 象：中学2年生(271名)
	高松空襲での壮絶な体験に加え、その後の一家の長期にわたる避難先での悲惨な生活の経験を通して、戦争がもたらす甚大な悪影響と平和の尊さを訴えました。 講演後に「戦争は悲しみしか生まない行為だとはっきりわかった。」「今の日常を大切にしたい。」「戦争の経験を伝え続けてくれることに感謝したい。」等の感想が寄せられました。

6月29日、岡山空襲があり、対岸が燃えているのがよく見えた。いずれ高松にも空襲があるのだろうという予感があった。乳母車に緊急用の家財道具を積んで逃げる準備をした。空襲が始まったときの記憶ははっきりとしない。突然、母に起こされて、乳母車に小さい兄弟二人を乗せ、リュックを背負って逃げた。北浜方面は真っ赤に燃えており、南を見るとそちらも真っ赤だった。その火から逃げるように、造船所から北へ出て、護岸の西側にある西浜塩田にたどり着いた。途中、高射機関砲で反撃しているのが見えたが、B29には全く届いていなかった。

証言者プロフィール

■当時 中学1年生

■住所 西浜町

■家族 10人

父母、祖父母

子ども6人

■家業 造船業

「あの日わたしは 高松空襲～当時を伝える証言者の声～」(高松空襲を子どもたちに伝える会)証言映像より編集



平和記念館映像学習室において、次のとおり平和映画を上映します(無料)。

4月の上映 「ちいちゃんのかげおくり」(17分)

日時▶ 開館日の土・日・祝日、午後1時～

解説▶ 一人ぼっちになったちいちゃんが、まぶしい日ざしに目を覚ますと、家族みんなで「かげおくり」をする声が聞こえてきた。その声に誘われるように、ちいちゃんは空に吸い込まれていった。



5月の上映 「ふたつの胡桃(野坂昭如戦争童話集)」(45分)

日時▶ 開館日の土・日・祝日、午後1時～

解説▶ 気を失った彩花が目を覚ますと、そこは戦時下の東京。そこで出会った少女友子は、彩花が元の世界に戻るよう願いを込めて、二つの胡桃の鈴の一つを彩花に分けてくれたのだった。



6月の上映 「一つの花」(23分) ※6月18日(日)まで

日時▶ 開館日の土・日、午後1時～

解説▶ 「一つだけちょうだい。おにぎりちょうだい。」ねだって泣き続けるゆみ子に、お父さんはコスモスの花を一本とって「さあ。一つだけあげよう。一つだけの花、大切にするんだよ。」と言った。



※ 都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

▼令和5年度行事予定▲

5月

- **平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭**

期 日 令和5年5月13日(土)
場 所 たかまつミライエ1階 多目的室
内 容 講演「広島での原爆体験」
映画「太陽の子」

6,7月

- **高松空襲展**

期 日 令和5年6月24日(土)～7月5日(水)
場 所 たかまつミライエ5階 平和記念館
内 容 高松空襲の被災写真・絵画・資料パネルを展示

7月

- **高松市戦争遺品展**

期 日 令和5年7月13日(木)～7月19日(水)
場 所 瓦町 FLAG2階 コンコース
内 容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料を展示

8月

- **原爆パネル展**

期 日 令和5年8月3日(木)～8月9日(水)
場 所 瓦町 FLAG8階 IKODE 瓦町展示コーナー
内 容 原爆関連資料を展示

- **教職員のための平和教育講演会**

期 日 令和5年8月4日(金)
場 所 たかまつミライエ 会場については未定
内 容 講演(内容未定)と「平和学習」の説明

- **高松市戦争遺品等収蔵品巡回展**

期 日 未定
場 所 未定
内 容 市民の皆様から寄贈された戦争遺品を中心に展示

※ 都合により、開催を中止・延期することがあります。



寄贈者の父親は、生前、この採用通知は非常に重要なものであると何度も家族に話していたという。表には「第三海軍志願兵徴募区、現居住地・香川県木田郡東植田村、〇〇〇〇(氏名)、右海軍航空兵(予科)二採用徴募ス、昭和14年3月31日、佐世保鎮守府」と記載されている。裏には心得が六項目列挙されており、その中に「霞ヶ浦海軍航空隊に入隊」とある。

この通知を受け取り、海軍で輸送機の飛行士となった父親は、1939(昭和14)年11月から1945(昭和20)年8月までの間、約2,000時間飛行し、国内外77拠点への離着陸を繰り返した。



平和記念館「企画展示コーナー」に展示中



国家総動員体制

【読み】 こっかそうどういんたいせい

【分類】 戦時中の社会

1938(昭和13)年、国家総動員法が公布され、あらゆる物資や労働力を統制する権限が政府に与えられた。これにより、議会が認めなくても、政府が経済や国民生活のすべてを命令どおり動かし、国民を戦争に参加させたり、あらゆるものを、戦争のために使ったりすることができるようになった。

また、1940(昭和15)年には、各県の県知事を支部長として、戦争を進めるための大政翼賛会^{たいせいよくさんかい}という国民統合組織を作り、誰も政府の方針に反対できないようにした。1942(昭和17)年には、町内会や隣組等も大政翼賛会の一組織として組み込まれ、国を挙げて戦争への道を進むことになった。

(高松市平和記念館展示キャプションより)

編集メモ

平和映画上映会、4月の作品は児童文学作家、あまんきみこさんの童話が原作の「ちいちゃんのかげおくり」。5月の「ふたつの胡桃」は、野坂昭如さんの「戦争童話集」をアニメ化した作品の中の一つです。6月の「一つの花」は児童文学作家、今西祐行さんの作品をアニメ化したものです。「ちいちゃんのかげおくり」と「一つの花」は小学校国語教科書にも採用されたおなじみのお話です。「ふたつの胡桃」は、不思議な体験を描いたファンタジーです。上映時間等をお確かめのうえ、ぜひ、ご家族でご鑑賞ください。



たかまつミライエ

高松市平和記念館 (たかまつミライエ 5階)

開館時間：午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日：火曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始12/29~1/3
入館料：無料

▼ホームページアドレス (平和啓発の推進事業がご覧いただけます) ▲QRコード
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>

